



### 姿勢を変えた恐竜化石

3月に恐竜化石の姿勢を変えました。これまでは隣の草食恐竜に襲いかかろうと尾を地面に着けて上体を起こした姿勢でしたが、最近では上体はほぼ水平を保っていたという説が一般的になりました。これを受けて当館でも姿勢の変更を行い、肉食恐竜の顔が草食恐竜の体にぐんと近づいた、迫力ある展示にすることができました。

### 転換の時

主任学芸主事 中間 弘

鹿児島県立博物館は、今年、様々なことが大きく変わり、節目の年となりました。

昭和56年1月に旧県立図書館だった建物を改装して文部科学省登録の総合博物館としてスタートしましたが、そこからの延べ利用者数が今年3月末に400万人を超えました。これもひとえに、県民の皆様のおかげと感謝いたしております。

ところで、当館に恐竜化石があることをご存じでしたか？宝山ホール（県文化センター）4階に、上に掲載した写真のような2体の恐竜化石があります。アメリカ・ユタ州で発掘された3体のうちの2体を、昭和40年に小川勇吉氏から寄贈していただいたもので、全身の約70%が本物の化石でできている貴重な標本です。

右側の化石は、以前はもっと起き上がったような姿勢だったのですが、最新の学説に

従って上体を水平にする変更を行いました。最近の子どもたちが知っている姿にやっと変えることができたわけです。

他にも、館内展示の解説用に「音声ガイド」を導入したり、飛び出して見える立体画像である「3D劇場」を更新したりと、一度に多くのことが起こった3月でした。

幼いお子さんを連れのお父さんが、「私も小学生の頃にここに来ました。」と懐かしそうに語ってくれました。以前と変わらないところもあれば変わったところもあり、「お父さんが子どもの頃はね・・・」と子どもさんに話しかけていました。こうして親子代々で来てくださる方々や2度3度と繰り返し来てくださる方々に喜んでもらえる、そんな博物館であることを目指して日々努めております。

これからも何かが進化しつづける博物館。新しい何かを探しに、どうぞおいでください。

# 企画展が面白い ぜひおいでください!

## 現在開催中の企画展

### 大隅の自然 (特別企画展)

10月3日～12月2日

大隅半島は、稲尾岳をはじめとする「照葉樹の森」が有名です。中でも稲尾岳には、アカガシを中心とした森やイスノキを中心とした森、風衝低木林が見られます。



稲尾岳

また、1000m級の山々が連なる高隈山には、落葉広葉樹「ブナ」が見られ、この地域が分布の南限になっているほか、タカクマホトトギスやタカクマヒキオコシなどの固有種も見られます。



タカクマホトトギス

さらに、動物では、サンショウウオの分布の南限であり、オオスミドリカミキリなどの固有の種類が見られるなど、自然豊かなところです。オオダイガハラサンショウウオ



博物館は、この地域をこれまで地道に調査してきました。調査した成果をもとに、花こう岩を基盤とした急峻な山々など薩摩半島とはひと味違った「大隅の自然」とその自然と人との関わりについて紹介します。

## これからの企画展

### 猛禽類 ～鋭いくちばしと爪の持ち主たち～

12月22日～2月17日

猛禽類は、鋭いくちばしと爪をもち、他の動物を捕食する鳥の仲間のことをいいます。その中で、鹿児島県内に見られるタカやフクロウを中心に、その生態や見分け方、人との

関わりについて、剥製や写真、パネルなどで紹介します。

また現在、高校生によるポスター作成も行われています。関連行事も盛りたくさんありますので、あわせてご期待ください!!



サシバ

## かごしま化石発見伝

3月9日～5月31日

子どもから大人まで心を魅了する化石。化石は遠い過去の時代の出来事を教えてくれます。さあ、化石をもとにかごしまの過去にタイムスリップしてみましょう。甕島や獅子島で見つかった恐竜などの化石をはじめ、鹿児島島の化石をまるごと紹介します。



マガキの化石 (城山層)

## 9月までの企画展

### 2012年金環日食記念 137億年・時空の旅～宇宙と地球の物語～

4月21日～6月24日

### 恋を叫ぶ虫たちの謎

7月14日～9月17日

9月中旬までに二つの企画展が終わりました。5月21日の金環日食を記念して開催した企画展では、宇宙の誕生やこれまでの出来事、宇宙のさまざまな天体について、さらに地球の誕生などについても紹介しました。展示の一部は、今後起こる天文現象とともに、宝山ホール4階の天文展示室に展示してありますので、是非ご覧ください。

## 喜界島におけるサイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)

平成24年度は、独立行政法人 科学技術振興機構 (JST) の募集したサイエンス・パートナーシップ・プロジェクト (SPP) に応募し、昆虫と天文の2分野で採用されました。

本年度は11月に喜界島にて移動博物館が開催されることもあり、「喜界島の自然を喜界島の中高生と共に調査・研究し、調べたことを発表しよう」というコンセプトで活動しています。単なる県立博物館からの情報発信のみならず、地域の方々と共に作り上げる移動博物館になればという想いで進めていますので、11月の移動博物館をどうぞご期待ください。

### 昆虫分野

#### 「喜界島の現在と未来を考える ～昆虫をととして～」

5月に喜界中学校1・2年生、喜界高校3学年を対象に、「喜界島に侵入する昆虫」と題して講演会を行いました。喜界島のシンボリックな存在であるオオゴマダラも、1980年代までは分布しておらず、その後侵入してきた種類であることに生徒は驚いていました。同じように、今、喜界島に侵入しているかもしれない昆虫に注目し、今後、喜界島に定着できるのかどうかを予測すれば、喜界島の将来を考えることにつながるだろう、という内容でした。



この講演会を受けて「共同研究したい」という生徒を募ってところ、中学生4人、高校生6人の応募があり、土日や夏休み期間を使って調査する計画を立てました。

5月26日(土)、7月16日(祝)の2日間、生徒たちと共に喜界町湾集落、荒木集落を調査しました。対象はアカギをの実を食べるラデンキンカメムシ、幼虫がヤシの葉を食べる蝶：クロボシセセリなどです。現在のところまだ侵入した証拠を見つけられませんが、これから秋にかけて季節風や台風が影響を与える時期に出現するか、大いに楽しみな研究です。

7月17日(火)には、喜界中学校1年生の総合的な学習の時間を用いて、島内のセミの鳴き声調査を行いました。スクールバスを手配して、道路を集落ごとに走りながら聞こえてくるセミの鳴き声を記録しました。現在まで喜界島ではクロイワツクツク、クロイワニニイの2種類しか記録がありませんでしたが、今回クマゼミが鳴いていることを少なくとも3カ所で確認できました。



今後は中高生の調査結果をまとめ、11月に行われる「喜界島の自然講演会」でポスター発表に挑戦する予定です。

### 天文分野

#### 「宇宙の広がりをつかもう！ in 喜界島」

7月に喜界中学校及び喜界高校生を対象に、「宇宙の広がりをつかもう」というタイトルで、宇宙に関する講義と実習をおこないました。喜界高校では、誕生から137億年の宇宙や銀河、恒星・衛星などについて深く学び、生徒は宇宙の広がりを実感しました。また同時に宇宙の観察方法に関する実習もおこないました。5月6日、喜界町から見えたスーパームーン(写真：吉行秀和氏撮影)などの紹介も同時におこない、身近な宇宙も学びました。



またこの事業を活用して、喜界町公民館及び旧早町小学校体育館で星空観察会も行いました。あいにく雨の天候でしたが、宇宙に関する画像や星座早見盤などを用いて、幼児から大人まで、宇宙に関する学習ができました。

展示紹介

飼育中 ナマズ!

本館1階エントランスには、大型の水槽が設置してあります。その中には4匹のナマズを飼育しています。漢字では、「鯰」と書きます。頭が大きく、ヌルヌルしている魚にちなみます。頭は縦に平たく、頭の後ろからは横に平たい形になっています。4本のヒゲがあります。基本的に夜行性で、小魚やカエルなどを食べます。案外おいしく、地方によっては天ぷらや蒲焼きにして食べています。



パイプに隠れるナマズ

催し物紹介

博物館では毎週土・日曜日に「楽しい実験」をそして毎月第2・4日曜日には「天文教室」を行っています。

月	楽しい実験	天文教室
10	スズメバチをさわろう	お日さまが教えてくれる時計
11	ジュズダマでかざりをつくろう	見える星座が分かる星座早見
12	貝がらや石ころでアート	とべとべ たこ
1	星砂をさがそう	光る誕生星座かざり
2	回してあそぼうキャップゴマ	惑星の素顔をさぐる立体模型
3	よく飛ぶプラトンボ	パッと開く宇宙折り紙

科学教室紹介

博物館では、学芸主事による自然科学学習講座「科学教室」を実施しています。事前予約が必要ですが、博物館の中でも人気のある講座です。

月日	科学教室の内容
10月 6日(土)	猿ヶ城溪谷自然ウォッチング
10月21日(日)	化石発掘体験
11月 3日(土)	アサギマダラのみみつを調べよう
11月18日(日)	ジュズダマでかざりを作ろう
12月 2日(日)	地層と化石のでき方をさぐる
12月16日(日)	木の実でクリスマスかざりを作ろう
1月 6日(日)	春の七草をさがそう
1月20日(日)	磨いて作る宝の石
2月 3日(日)	レッツ! 猛禽類をさがそう
2月17日(日)	化石レプリカを作ろう
3月 3日(日)	城山の動物ウォッチング
3月17日(日)	街かど化石探検隊

学芸室の窓から

博物館行事と雨

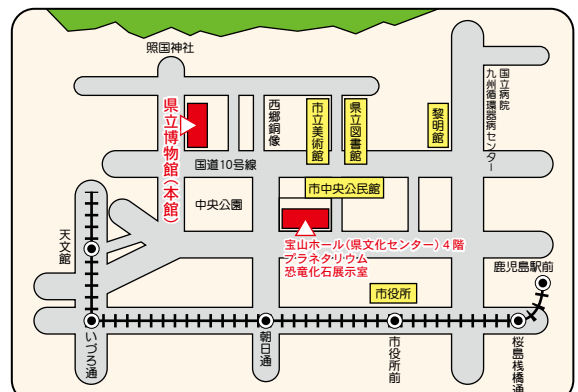
博物館の行事は天候に左右されます。平成24年5月21日にあった金環日食は、鹿児島市内では残念ながら小雨交じりの空模様で、全く確認できませんでした。同じように、昆虫分野も天候に左右されます。午前中に日が差さなければ、アゲハチョウなどは活発に飛びません。

7月16日に喜界島入りした際は、快晴の元でセミの鳴き声を聞いて回ったのに、宿舎に帰ると「南大東島沖に突如台風が出現した」というニュースが流れ、週間天気予報も晴れから暴風雨へと急転しました。翌日の講座を午前中に何とか終え、17時の飛行機を待っていたところ「欠航になりました」との連絡が入り、あえなく延泊となりました。思えば昆虫担当は何度も雨で行事を中止したり、強引に実施してはずぶ濡れになったりと、天候に恵まれません。来年は生まれ変わった気持ちで、晴れた日差しの元で活動できると信じ、今年台風とつきあっています。



調査中の雨で器材も雨宿り

●鹿博だより 編集・発行 鹿児島県立博物館  
〒892-0853 鹿児島市城山町1番1号  
TEL 099-223-6050 FAX 099-223-6080



ホームページ <http://www.pref.kagoshima.jp/hakubutsukan/>